箱根町立箱根湿生花園平成27年11月5日発行

花だより　第23号

11月5日～11月14日まで

箱根湿生花園　Tel:0460-84-7293　http://www.hakone.or.jp/shissei/

カエデの仲間が色付き、園内は紅葉の美しい季節を迎えています。また、寒さが加わったことでより深みを増したコムラサキやノブドウなどの草木の実の色が、紅葉に華を添えています。“秋の山野草と盆栽展”は、１１月１０日まで。お見逃し無く！

見頃の花・実・紅葉　４６種

＜草の花＞ノジギク　イソギク　リンドウ　ヤマラッキョウ　オヤマボクチ　ほか

＜木の実・草の実＞ノブドウ　コムラサキ　イヌウメモドキ　イヌツゲ　スイカズラ　ノイバラ　ズミ　シオデ　ほか

＜紅葉＞イロハモミジ　イトマキイタヤ　エンコウカエデ　カラコギカエデ　ハナノキ　ウリハダカエデ　ホソエカエデ　コミネカエデ　カジカエデ　ヤマボウシ　ヒメシャラ　コハウチワカエデ　ミヤマシグレ　トウゴクミツバツツジ　アカシデ　カマツカ　ほか

咲き始めの花・色づき始めの実・葉

（花）アシズリノジギク　（実）マユミ
（紅葉）オオモミジ　チドリノキ　メグスリノキ　ヤクシマオナガカエデ　ほか

カエデの仲間が色付き、紅葉の美しい季節を迎えた園内の様子（１１月４日撮影）

日差しをうけて、輝くススキの穂。まだまだ、見頃です。

秋の山野草と盆栽展の開催は、１１月１０日まで。

《観察場所記号》サ:サービスヤード ①:落葉広葉樹林(乾生林)区 ②:ススキ草原区 ③:低層湿原区 ④:ヌマガヤ草原区 ⑤:高山のお花畑区 ⑥:高層湿原区　岩:岩場植物区 ⑦:仙石原湿原区 ⑧:湿生林区　植:植生復元区

イロハモミジ

「いろは紅葉」（カエデ科）

福島県以南の低山に生える落葉高木。紅葉の名所である京都府の高雄に因んで、別名「タカオモミジ」。

観察場所：サ・①・岩・⑧

コムラサキ

「小紫」（クマツヅラ科）

園芸店で「紫式部」の名で売られているのはコムラサキのこと。実付きが良いので、庭木に利用されます。

観察場所：サ・⑥・⑦・⑧

ノジギク

「野路菊」（キク科）

兵庫・広島・山口・高知・愛媛・大分・宮崎・鹿児島県の海岸に生える多年草。栽培菊の原種とされています。

観察場所：⑤

ノブドウ

「野葡萄」（ブドウ科）

日本各地の山野に生える落葉ツル性植物。果実に虫が寄生し、紫色や青色の実が付きます。食用にはしません。

観察場所：②

イソギク

「磯菊」（キク科）

本州（千葉～静岡県）の太平洋岸、伊豆諸島の海岸の崖などに生える多年草。名前の由来は、磯に生える菊から。

観察場所：⑤

リンドウ

「竜胆」（リンドウ科）

漢方では根を、非常に苦味が強いので「竜胆（りゅうたん）」と呼び、健胃薬として用いられます。

観察場所：園内各所

☆紅葉について☆

知っていましたか？

ウリハダカエデ

コミネカエデ

木々の葉が色付くのは、葉を落とすための準備！

①寒くなると葉と枝の間に離層（仕切り）が出来ます。
②日中気温が高いと光合成が行われ、葉にたくさんの糖分が出来ますが、枝の方に運ばれず葉に留まります。やがて赤い色素が作られます。
③気温の低下により葉緑素が壊れて緑色が消えてきます。
④葉が赤く見えるようになり、紅葉の始まり。
（注：木の種類によっては多少異なることがあります。）

紅葉はどう見たら美しいのかな？

色付いた葉に太陽の光が当たっているのを見るとき、順光と逆光とでは葉の色が違って見えます。逆光で見たほうが一般的には美しいとされ、夕方など太陽の高度が低いときが一層良いといわれています。

箱根町立 箱根湿生花園 ＊利用案内＊

◎開園期間
３／２０～１１／３０
（開園期間中無休）
12月１日～３月19日は冬期休園

◎入園時間
９：００～17：００
見学所要時間は、園内をゆっくり回って約４０分、展示室約２０分が目安

◎展示室
展示室では、仙石原湿原の動植物を写真やパネル、大型水槽で紹介。また、映像「箱根湿生花園四季の花」を上映（約１５分）。春季は「春の花」、夏季は「夏の花」を上映。

◎入園料金
大人　７００円　小学生４００円
団体（20名から）大人５００円
高校生３５０円　中学生３００円
小学生３００円　園児２００円
※土日祝日は、個人の中学生以下は無料（団体の場合は有料）。65歳以上は特別割引。障害者手帳を持つ個人の方はご本人と付き添い者１名まで特別割引。（特別割引＝大人［中学生以上］６００円　小学生３００円）

〒250-0631　神奈川県足柄下郡箱根町仙石原817番地

TEL 0460-84-7293（なつくさ）
FAX 0460-84-6871
Email shissei@hakone.or.jp

箱根市構想テーマに南足柄の古屋さん

西湘サロン11月16日　小田原

小田原市本町の日本生命小田原ビル４階会議室で11月16日午後６時から８時まで、「西湘サロン」が開かれる。主催は神奈川県異業種連携協議会。

地域の幅広い人材交流を目指した神奈川新産学公交流サロンとして定期開催。第59回目となる今回は南足柄市のユートピア農園＆TOMIOファーム代表古屋富雄さんが登場する。

テーマは「箱根市構想―東箱根そして箱根市へ」。

足柄峠を越えて武蔵に至る古道「足柄道」の歴史に触れながら、「富士フィルムやアサヒビールなど工業、農業生産があるまち南足柄と、世界的観光地・箱根の歴史上のつながりを再生することで、活力ある足柄が創生できる」などの持論で話題提供をする。

話題提供の後は、テーブルディスカッションで自由に討論し、参加者同士が情報を交換、交流する。

参加費は１０００円（ビール、つまみを用意）。

申し込み、問い合わせは同会事務局の吉池さん（☎・FAX０４５－２２８－７３３１）へ。

酒匂川流域から未来へ「つながる」

農業とエネルギー①

太陽の恵みをいっぱい受けて育ったミカン畑の連なる、小田原市内の里山風景。ここ最近は、久野や荻窪の丘陵地を見渡すと、キラリと光る太陽光発電パネルも見られるようになった。こうした風景のかげに、農産物もエネルギーも安心安全なものを地域の皆でつくれたら―との思いで、コツコツと小さな取り組みを重ねる人たちの存在がある。その一部を紹介する。（短期集中・不定期連載）

小田原市本町の市民会館で今月13・14の両日、「市民・地域共同発電所全国フォーラム２０１５」が開かれる。電力自由化を来年に控え、全国各地の市民発電所、いわゆる「ご当地電力」の関係者らが一堂に会し、情報交換をする２日間。主催は市民・地域共同発電所全国フォーラム―in小田原２０１５実行委員会、創発的地域づくり連携推進センター酒匂川流域小田原支部。市などが共催。

小田原では、２０１１年の東日本大震災と東電原発事故以降、安全な自然エネルギーの地産地消に市と市民の官民協働で取り組んできた。今回のフォーラムは、そうした市民力を全国発信する機会にもなる。

市内では昨秋、ほうとくエネルギー（蓑宮武夫社長）が運営するメガソーラー発電所が、多くの企業や市民らの出資、協力で完成し、発電を開始した。

それより早い昨春に発電が開始された県西部初のメガソーラー、大井町の「きらめきの丘おおい」の運営会社も、同市寿町に本社を置く古川（古川剛士社長）だ。

フォーラムにあわせ企画された各社のメガソーラー見学ツアーはすでに満席といい、一般からの関心の高さが分かる。

……

このフォーラムの運営を支える人たちは、エネルギーの専門家ばかりではない。普通の家庭の主婦や農家の人たち、地域活性化にチャレンジする若者など、さまざまだ。

関わる理由はそれぞれだが、共通するのは、身近な電力などのエネルギー問題をきっかけに、毎日の生活の安全性を考え、自分たちで使うものは自分たちの手で作ろう、顔の見える関係で作ろう―という目標を描いている点だ。

フォーラムに関する問い合わせは実行委員会事務局の小山田さん（☎090－7008－4455）へ。

フォーラム実行委員会事務局長の小山田大和さん自身も、小田原城址公園二の丸広場で２０１４年３月、「震災から３年―持続可能なライフスタイルはつくれるか？」というテーマのイベント「おひさまマルシェ」を立ち上げた経験がある。音響設備を太陽光発電でまかなうトークショーなど、すべて手作りでスタートし、今年も、来年も続いていく。

さらに同年４月からは耕作放棄寸前のミカン畑を借り受けて手入れし収穫、ミカンジュースを商品化する活動にも取り組んだ。それぞれ異なったベクトルに見えるが、思いは一つ。農産物もエネルギーも、地域の大切な財産として、自分たちの手で作り、守りたいという想いが熱くほとばしる。

全く異なる一人ひとりが考えたこと、小さくてもできることをそれぞれやっていく。その想いがつながり、よりよい未来へ向かえばいい―。

そんなふうに考える小山田さんたちは、フォーラムの準備に追われる一方で、今年のミカンの収穫期を迎え、ますます忙しい。

片浦では７日、太陽光発電による映画上映会参加者らが、手作りのかまどを使った調理など、省エネと創エネをつくした野外料理も楽しんだ

（②へ続く）

美術館・博物館だより

箱根美術館 箱根町強羅１３００	・日本庭園とやきものの美	大人　９００円 高大生　４００円 中学生以下　無料	開館９時30分～16時 休館木曜日（祝日の場合は開館）	☎０４６０（８２）２６２３
箱根マイセン アンティーク美術館 箱根町強羅１３２０－６５３	・「世界のアンティーク」	大人　１６００円 （大人は本紙持参で１００円引き） 学生　１１００円 中学生以下　８００円	開館９時～17時30分	☎０４６０（８３）８８５５ http://hakone-meissen.com
箱根彫刻の森美術館 箱根町二ノ平１１２１	・笹口悦民写真展 無言の恍惚」（緑陰ギャラリーで、11月21日～２０１６年２月14日）	大人　１６００円 学生・シニア　１２００円 小人　８００円	開館９時～17時 年中無休	☎０４６０（８２）１１６１ http://hakone-oam.or.jp
箱根・芦ノ湖 成川美術館 箱根町元箱根５７０	・「人物を描く展」、「齊 正機 第2回新作個展～帰り道シリーズ」、ほか（12月15日まで）	大人　１３００円 高大生　９００円 小中学生　６００円	開館９時～17時 年中無休	☎０４６０（８３）６８２８ http://www.narukawamuseum.co.jp
本間寄木美術館 箱根町湯本８４	・「義経と静展」（11月30日まで）・「寄木七福神展（恵比寿）」（12月31日まで）	大人　５００円 小学生以下　３００円	開館９時～17時 （入館は16時30分まで） 年中無休（元日は休館）	☎０４６０（８５）５６４６ http://www.yoseki-honma.com
箱根ガラスの森美術館 箱根町仙石原９４０－４８	・「魅惑の香水瓶―貴族が愛した香りの芸術―」（11月23日まで）	大人　１５００円 高大生　１１００円 小中学生　６００円	開館９時～17時30分 （入館は17時まで） 年中無休	☎０４６０（８６）３１１１ http://ukai.co.jp/garasunomori
箱根武士の里美術館 箱根町仙石原８１７	・刀剣、鎧兜など常時５００点以上展示	大人　９００円 高大生　４００円 中学生以下　無料	開館９時～17時 休館　４月～11月は無休	☎０４６０（８４）８１７７ http://www5f.biglobe.ne.jp/~mononofu-no-sato/
箱根ジオミュージアム 箱根町仙石原１２５１	※立ち入り規制のため臨時休館（森のふれあい館と箱根町役場住民ホールに特設コーナーを設けている）		開館９時～17時（入館は16時30分まで）※冬期12月１日～２月末まで（９時～16時30分まで） 年中無休（臨時休館あり）	☎０４６０（８３）８１４０ http://www.hakone-geomuseum.jp/
箱根町立 森のふれあい館 箱根町箱根３８１－４	・企画展「木の実・草の実ウォッチング」（11月23日まで） ・特別展「外来生物展」（２０１６年３月31日まで）	大人　６５０円 65歳以上　６００円 こども（小学生）４００円	開館９時～17時 年中無休（臨時休館有）	☎０４６０（８３）６００６
箱根フリック美術館 箱根町仙石原１８６－１	・開館10周年記念企画展「ミュシャとフリック」（12月13日まで）	大人　１５００円 高大生・シニア（65歳以上）１３００円 中学生以下　８００円	開館９時～17時（入館は16時30分まで） 年中無休（臨時休館あり）	☎０４６０（８４）２２５５ http://www.lalique-museum.com
ポーラ美術館 箱根町仙石原小塚山１２８５	・「自然と都市 印象派からエコール・ド・パリまで」（２０１６年３月31日まで）	大人　１８００円 大高生　１３００円 小中学生　７００円	開館９時～17時 （入館は16時30分まで） ※小中学生のみ土曜無料 年中無休（臨時休館有）	☎０４６０（８４）２１１１ http://polamuseum.or.jp
箱根町立郷土資料館 箱根町湯本２６６	・常設展示　歴史を知ると、箱根はもっとおもしろい「箱根七湯の時代～湯治場から温泉観光地へ」	大人　２００円 小中学生　１００円	開館９時～16時 休館毎週水曜日・毎月最終月曜日休館	☎０４６０（８５）７６０１ http://www.town.hakone.kanagawa.jp/hakone_i/ka/shougai/hlm
箱根神社宝物殿 箱根町元箱根　８０－１	・奈良から明治時代を対象に神社の歴史を概観できる各時代の美術品を展示	大人　５００円 小人　３００円	開館９時～16時 年中無休（祭礼・天候により一時閉館あり）	☎０４６０（８３）７１２３
箱根写真美術館 箱根町強羅　１３００－４３２	・「所蔵コレクション展―山田應水 箱根の風趣―」（11月16日まで）	大人　４００円 中学生以下　３００円 ６歳以下　無料	開館９時～16時 （休日の前日は21時まで） 休館毎週火曜日	☎０４６０（８２）２７１７ http://www.hmop.com
町立湯河原美術館 湯河原町宮上６２３－１	・特別展「近現代日本美術の精華―青梅市立美術館名品展」（11月17日まで）	大人　６００円 小中学生　３００円	開館９時～16時30分（入館は16時まで）毎週水曜休館（祝日の場合は開館）12月28日～31日休館	☎０４６５（６３）７７８８ http://www.town.yugawara.kanagawa.jp/kyoiku/museum/
真鶴町立 中川一政美術館 真鶴町真鶴１１７８－１	・第３回展示「中川一政が描いた秋」（12月23日まで）	大人　６００円 高校生以下　３５０円	開館９時30分～16時30分（入館は16時まで）毎週水曜休館、12月28日～１月３日休館	☎０４６０（６８）１１２８ http://www.town-manazuru.jp/museum
MOA美術館 静岡県熱海市桃山町26－２	・「日本工芸会東日本・東海選抜展 伝統工芸の現在性」（11月17日まで）	一般　１６００円 高大生　８００円 シニア　１２００円 中学生以下　無料	開館９時半～16時半、毎週木曜日休館（祝日は開館）、第二水曜日休館（１・２・８月は除く）、12月25日～31日休館、１月４日～８日休館（元日～３日は開館）	☎０５５７（８４）２５１１ http://www.moaart.or.jp/
神奈川県立 生命の星・地球博物館 小田原市入生田４９９	・常設展「生命の星・地球」の誕生から現在までの46億年にわたる地球の歴史と生命の多様性を時間の流れを追ってわかりやすく展示	常設展　20歳以上（学生を除く）５２０円、20歳未満・学生　３００円、高校生・65歳以上　１００円、中学生以下　無料 ※企画展は無料	開館９時～16時30分（入館は16時まで） 休館毎週月曜日・祝日の翌日、館内整備日（第２火曜日）、年末年始（12月29日～１月３日）	☎０４６５（２１）１５１５ http://nh.kanagawa-museum.jp/
小田原城天守閣 小田原市城内６－１ 小田原城址公園内	※２０１６年４月下旬まで耐震改修工事のため休館			☎０４６５（２３）１３７３ http://www.city.odawara.kanagawa.jp/kanko/odawaracastle
江戸民具街道 中井町久所４１８	・江戸町火消の器具、浮世絵、千両箱など千五百点、提灯・灯り等八百点	大人　５００円 小人　４００円 （春・夏・冬休み期間中は半額） ※団体、学校は要予約	開館10時～17時 毎週月曜休館	☎０４６５（８１）５３３９
南足柄郷土資料館 南足柄市広町１５４４	・秋季特別展「和紙人形が伝える日本の伝統美」（11月29日まで）	特別展 大人　４００円 小中学生　２００円	開館９時～16時30分（入館は閉館30分前まで）休館毎週月曜・祝日の翌日	☎０４６５（７３）４５７０
箱根駅伝ミュージアム 箱根町箱根１６７	・箱根駅伝の歴史、優勝杯や歴代の名レース・名選手の写真や資料などを展示	大人　５００円 小中学生　３００円	開館10時～17時（入館は閉館30分前まで）無休 ※（冬期営業は要問合せ）	☎０４６０（８３）７５１１ http://www.hakoneekidenmuseum.jp/